

平成 16 年度 秋期 アプリケーションエンジニア試験 解答例

午後 I 試験

問 1

設問	解答例・解答の要点			備考
設問 1	①	入力させる項目	会員 ID	①と②は順不同
		チェックできること	登録確認メールを受信したこと	
	②	入力させる項目	パスワード	
		チェックできること	申込者本人であること	
設問 2	クライアント側の処理は、顧客側のブラウザでスクリプトを無効にするなどによって、システム設計者の意図どおりに動作しない可能性があることを、適切に説明していること			
設問 3	(1)	会員マスタに追加すべき項目	前回注文日	①と②は順不同
		商品マスタに追加すべき項目	登録日	
	(2) ①	プロセス	商品選択	
		追加すべき処理内容	会員マスタを読んで、前回注文日を商品詳細情報表示に引き渡すことを、適切に記述していること	
	(2) ②	プロセス	注文内容確認・確定	
		追加すべき処理内容	会員マスタの前回注文日を本日の日付に更新することを、適切に記述していること	

問 2

設問		解答例・解答の要点		備考
設問 1	a	会員証		
	b	現在貸出図書冊数		
	c	貸出履歴ファイル		
	d	貸出会員コード		
	e	貸出日時		
	f	現在貸出図書冊数		
	g	返却日時		
	h	貸出日時		
	i	貸出可能		
設問 2	IC タグの一括読込みの読取り率が 97%しかないので、未読のチェックを行うために画面から冊数を入力していることを、適切に説明していること			
設問 3	書架の近くに設置した PC で図書の IC タグの情報を読み込んで、貸出可能期間を表示させるという方法を、適切に記述していること			
設問 4	(1)	貸出会員氏名		
	(2)	処理名	返却処理	
		追加すべき処理内容	IC タグの貸出会員コードの内容をクリアすることを、適切に記述していること	

問3

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	a	融資不可	
	b	審査請求	
	c	融資不可	
	d	融資可	
	e	決裁	
	f	融資契約	
設問2	<pre> graph LR 口座[口座 支店番号 顧客番号 口座番号 金融商品コード 口座残高] 顧客[顧客 支店番号 顧客番号 顧客名 住所 格付 担保残高 財務状況区分] 融資商品[融資商品 融資商品コード 融資商品名 商品融資限度額] 取引[取引 支店番号 顧客番号 口座番号 取引番号 取引コード 取引日付 取引金額] 案件[案件 支店番号 顧客番号 案件番号 日付 融資商品コード 融資金額 担保金額 審査作業区分 融資可否区分] 口座 --- 1..* 取引 口座 --- 1..* 顧客 口座 --- 1..* 融資商品 顧客 --- 1 0..* 案件 融資商品 --- 1 0..* 案件 </pre>		
設問3	(1)	g 案件テーブルの審査作業区分に、“承認作業済”を設定することを、適切に記述していること	
	(2)	h 融資商品テーブルを読み込む	
		i 財務状況区分＝“基準内”	
		j 融資限度額≥融資金額	
設問4	(1)	他案件で担保残高の更新が行われる前に、当該案件の融資限度額が計算される場合であることを、適切に記述していること	
	(2)	融資限度額チェック処理	

問4

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	a	登録日	
	b	同一の注文番号のデータ	
	c	請求確認済	
	d	発注済	
設問2	非標準品の品目情報を品目マスタに、発注基本情報を発注品目マスタに登録することを、適切に記述していること		
設問3	受入数	発注数と同数、又は“0”であることを、適切に記述していること	
	良品数	“0”以上、かつ受入数（発注数）以下であることを、適切に記述していること	
設問4	分割納入の場合は、納品書の受入数を実際の納品数に訂正することを、適切に記述していること		